

次に、財政運営についてお尋ねいたします。

まず、古川市長については、新年度予算を編成され、財政の健全化を掲げており、今後の財政運営に、大いに期待いたしております。

新居浜市は財政調整基金が減少している中、地方公共団体は、経済の不況等による税収の減少や、災害の発生等による予期せぬ支出の増加に備え、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うための財政調整基金を積み立てています。この基金については、年度間の財源の不均衡を調整するものでありますが、新居浜市のここ10年間の状況を振り返ってみますと、平成27年度末に約51億円あった財政調整基金残高が、令和5年度末で約16億円となり、この間に約35億円減少しています。また、令和6年度の補正予算後の残高が約4億6,000万円、令和7年度当初予算では約3億8,000万円まで減少すると伺っています。

そこで、この大幅な減少についての要因はどのようにお考えなのか。この要因について、お伺いします。

また、新居浜市は県内他市と比較して、財政力指数は高く、実質公債費比率等の健全化判断比率も低い状況にかかわらず、財政調整基金残高が少ない状況なんですが、このことについてどのように考えているか、お伺いいたします。

今後、市長が掲げている公約の実現に当たっては、大きな財源を必要とするような事業の実施が想定されますが、財政調整基金残高に乏しい状況で、財源の確保をどのように進めていくのか、お伺いいたします。

折しも、人件費や物価高騰など、地方自治を取り巻く環境は厳しさを増している中で、財政調整基金残高を回復させながら、市長の考える発展と継続を両立できる財政構造を構築するための具体的な方策について、お伺いいたします。

○議長（小野辰夫） 答弁を求めます。加地企画部長。

○企画部長（加地和弘）（登壇）財政運営についてお答えいたします。

まず、財政調整基金残高の大幅な減少の要因についてでございます。

歳入につきましては、平成27年度と令和5年度の決算を比較いたしますと、市税は約13億円の増収となっておりますが、臨時財政対策債を含む交付税については約22億円減少しております。平成28年度以降の歳入一般財源が、大幅に減少しております。

また、歳出につきましては、この間、総合防災拠点施設建設事業や清掃センター施設整備事業、学校給食センター建設事業などの大型プロジェクトが実施されました。

これら歳入歳出の両面から、財政調整基金繰入金への依存が強まったことが約35億円の減少の要因であると認識いたしております。

次に、各種財政指標が良好であるにもかかわらず、財政調整基金残高が少ない状況についてでございます。

これまでの財政運営においては、

大型プロジェクトを推進するため、国庫補助金や交付税措置のある有利な市債を積極的に活用するとともに、財政調整基金を取り崩して対応し、行政サービスの維持に努めたことで基金残高は減少いたしました。市債残高は県内他市と比較しても、少なく抑えることができているものと認識いたしております。

その結果、実質公債費比率や将来負担比率などの各種財政指標につきましても良好な数値が維持できているものと考えておりますが、あくまでも現状維持が前提であり、今後の施設の更新や改修、維持管理などの投資を考えると、安定しているとは言えない状況でございます。

次に、財政調整基金残高が少ない状況での財源の確保についてでございます。

当面の間は、これまでと同様に、国庫補助金などの有効活用、市債による財源手当、また各種基金の活用などで財源の確保に努めるとともに、計画的な財政支出に努めながら財政調整基金に依存した財政運営から脱却し、安定した財政の基盤をつくる必要があると考えております。

次に、発展と継続を両立できる財政構造を構築するための具体的な方策についてでございます。

コロナ禍もあり、過去10年間の歳入は非常に不安定な状況でしたが、そのような状況において大型プロジェクトを進めた結果、財政調整基金残高が減少したことを考えますと、財政の持続性を担保するためには、年度ごとの歳入の増減に影響を受けにくい計画的な財政運営が必要であると考えます。

今後におきましては、人口減少社会に対応した持続性を担保できるよう公共施設の統廃合促進による固定費削減など計画的な歳出の削減と、新しい新居浜に向けた確かな地域福祉の増進や計画的投資を両輪とした財政構造を構築してまいりたいと考えております。

○議長（小野辰夫） 山本健十郎議員。

○18番（山本健十郎）（登壇）新居浜市は財政的には、以前、四、五年前までですが、県サイドからは、すばらしい財政運営をしておると褒められたと思いますが、どちらにしても、この財政調整基金が枯渇していると、これについてはいろいろ問題があると思いますが、固定費が多くなつとるんじゃないかと思いますが、その辺はもうお分かりだと思いますが、今後、その辺の見直しをして、健全財政を進めていただきたいと思います。

それでは、最後の質問に移らせていただきます。